

愛・地球博記念公園 公園マネジメント会議 **かわらばん** 第38号

～平成27年度第2回総会が開催されました～



平成27年12月22日(火)に「公園マネジメント会議 平成27年度第2回総会」が愛・地球博記念公園 地球市民交流センターにて開催され、会員37団体の出席と委任状の合計が過半数を超えたため、総会が成立しました。

次期(平成28・29年度)役員と、平成27年度の評価委員が承認されました。また、全国都市緑化あいちフェアの開催結果がフェア推進室より報告され、事務局からは、「あいちフェア市民村」の活動の様子やその結果等が報告されました。「今後の公園マネジメント会議の活動を活性化するにはどうしたらいいか」を考えるグループワークでは、活発な意見交換が行われました。



次期役員について



(報告・承認)

- 事務局より次期役員(平成28・29年度)の選出について説明され、次期役員が承認されました。

■次期役員

【会長】放送大学 稲村哲也先生(留任)
 【副会長】
 ネイチャークラブ東海 篠田陽作さん(留任)
 NPO 法人スポーツサポート協会 早川十八さん
 【コーディネーター】
 岡崎まち育てセンター・りた 三矢勝司さん(留任)
 【アドバイザー】(元)万博村の会 柴田麻美さん

評価委員について



(報告・承認)

- 事務局より立候補者2名と事務局推薦の3名の合計5名を今年度の評価委員会の委員とすることが提案されました。
- 今年度の評価委員会として5名の委員が承認されました。

■平成27年度評価委員

ネイチャークラブ東海、泉陽興業(株)、愛知公園協会、愛知県都市整備協会、公園緑地課

「あいちフェア市民村」のふりかえり

(報告)

- 第32回全国都市緑化あいちフェアのまとめ
 - フェア推進室より全国都市緑化あいちフェアの開催結果について報告されました。
- 「あいちフェア市民村」の記録について
 - 事務局より「あいちフェア市民村」の活動記録や入場者数、決算について報告されました。
 - 会員が「あいちフェア市民村」での感想や報告などを発表しました。
- 「あいちフェア市民村」の振り返り
 - 事務局より「あいちフェア市民村」の成果について説明されました。



(意見交換)

- 会場準備を始めた時は本当にやれるのかなと思っていたが、会員が協力して頑張れたので良かった。
- 会員が集まることで色々な活動が広がるように感じた。
- 普段よりも多様な世代の人に参加してもらえたことが良かった。
- 約2,000名の来場者がメッセージカードに記入してくれた。これから集計し報告する予定である。
- 非常に雰囲気やわらかくて入って来た方も気楽に参加できたと思う。
- 万博10周年の機に、緑化フェアで「自然との共生」「文化の多様性」という万博の理念を継承し、表現できた。公園マネジメント会議の役割をきっちり出せたイベントだったと思う。感動した。

グループワーク「あいちフェア市民村」を終えて



- 「あいちフェア市民村」をふりかえり、今後の公園マネジメント会議の活動を活性化するにはどうしたらいいかを考えました。

(グループワーク発表)

【「あいちフェア市民村」のふりかえり】

- 皆さんの得意なところで負担できる範囲を担った結果、58日間通じて活動できた。
- 公園全体を使ったコラボ、例えばサトラボや児童総合センターとのコラボがもっとできれば良かった。

【今後の公園マネジメント会議の活動について】

<活動の仕組みについて>

- やれる団体が中心となって活動を立ち上げれば、あまり参加できていない団体も内容によっては興味を持って参加できるのではないかな。
- 情報を外へ発信し、外からの評価により公園マネジメント会議の活動を活性化させ、さらに新しい活動を展開するといった流れにもっていかるとよい。これを実施するには「あいちフェア市民村」のようなモデルケースが必要。
- モリコロパークに来たら何か得をするようなシステムがあると良い(例:ポイント制の実施)
- 「あいちフェア市民村」の実績をもって、公園マネジメント会議が年間を通して活動できる場所を1ヶ所確保したいと公園管理者に提案してはどうか。ここに来れば必ず何かやっているという場所にしたい。

<具体的な活動について>

- 「あいちフェア市民村」から分かるように、私達には大きなイベントを支えられるパワーがある。年に1回大きなイベントを公園マネジメント会議主催でやってはどうか。(例:県内の市町と協働イベント開催)
- 今回のような大規模なイベントは負担になるので、もう少し小さなイベントを来園者が落ち込む時期を狙って開催してはどうか(例:新しいステージを使う等)。
- 「あいちフェア市民村」に幼児コーナーを設けたように、公園を良くするにはちょっとした配慮が必要である。大きなことを考えるのも大事だが、そこにちょっとした配慮を忘れないようにしたい。
- モリコロパークの平日の活性化を図るため、子育て世代をターゲットにして、平日を含めたイベントを開催してはどうか。(例:国際マーケット等、愛知駅伝等とのコラボ)
- 公園マネジメント会議で一つの花壇を管理してはどうか。会員同士が仲良くなれるし、小学校向けの体験を提供するといった使い方もできる。

<PRについて>

- 公園マネジメント会議という組織は全国にも珍しいのもっとPRできるとよい。それには自分たちで構想、企画、行動をしていく必要がある。その中で個々の団体も自分たちの思いを表現できると思う。
- 我々からさらに他の団体に声をかけることで、飛躍的に可能性が広がるのではないかな。

(全体共有)

- 【キーワード1】「共有財産(公園マネジメント会議としてみんなで使える財産)」
 (公園マネジメント会議が安定的に使える場所(空間)/みんなで守(も)りする場所(花壇など)/公園マネジメント会議主催イベント/行政や園内施設との協働イベント/公園マネジメント会議での共通インフラ(ポイント制度等))
- 【キーワード2】「活動推進の仕組み(ディレクターチームに相当する推進役)」



連絡事項



事務局より以下の連絡がありました。

- 今年度の2月のコア会議は、全会員対象の総会として開催します。
- 今年度より、公園マネジメント会議の会員更新は、継続の意思がない場合は休会扱いとします。休会が3年続くと退会となります。ご理解とご協力をお願いします。

お問い合わせ先

愛知県建設部公園緑地課(協働グループ) 担当: 山口 千代子
 〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 TEL: 052-954-6491 FAX: 052-953-5329
 公益財団法人愛知県都市整備協会愛・地球博記念公園管理事務所 担当: 安達 千代子
 〒480-1342 長久手市茨ヶ廻間乙 1533-1 TEL: 0561-64-1130 FAX: 0561-61-2150

